

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみなのは波多江		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 10日		～ R8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後等デイサービスで専門職（PT、OT）を導入し、児童の身体の状態を詳細に把握して支援に活かしている。	・遊びの中にリハビリ要素を取り入れ、児童が楽しみながら体幹や筋肉を鍛える。 ・個々の発達段階に応じて負荷を調整し、無理なく継続できる支援を実施。	・専門職の連携強化・研修充実。 ・定期的なケース会議で支援計画の見直し、リハビリ技術の研修や勉強会を積極的に行っていく。
2	・利用児一人ひとりとのコミュニケーションを重視。	・個別支援にて1対1の個別支援を行い(適時)、継続的かつ丁寧な関わりを実施している。	・職員間で連携しながら、一人ひとりとの関わりをさらに大切に支援を継続。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎スケジュールの重複や複数学校送迎による効率の難しさ。	・学校行事・急なスケジュール変更による臨時対応の必要、車両定員やスペース制約。	・送迎スケジュール最適化（学校下校時間・行事を事前把握）。 ・フレキシブルな対応体制構築（予備車両・追加職員配置）。 ・ICT活用によるリアルタイム管理・情報共有。
2	・保護者会や地域との交流が少ない。	・事業所への出入りには不審者侵入のおそれもあるため、見学の受け入れ等を行う際は、事前の予約がないと難しい。 ・保護者同士の交流の場を定期的に行う時間や場所の確保が難しい。	・公園活動等で地域との関わりが持てるよう取り組んでいく。 ・年に1回の保護者会を行っているが、参加率が半分以下であるため保護者に参加していただけるよう声かけを行なっていく。
3			